

# すみた 議会だより



「今夜はたっぷり栗ごはん  
…決めた！」

《有住保育園》 関連記事16p

- 9月議会できまったこと ②
- 30年度決算審査の概要 ④
- 我が町政を問う（7議員が一般質問） ⑧

# 使用料を引き上げ 10%増税に伴う



△保育所の副食費は、無償が継続される。

## 保育所副食費の無償継続 国の無償化対象外分に対応

9月定例会は、8月29日から9月6日までの9日間の会期で開かれました。現議員にとっては任期最後の定例会。一般質問には7議員が登壇し、当局と論戦を交わしました。

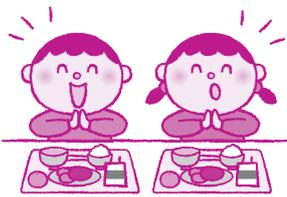
その後、報告、条例の改正、補正予算審議、財産の取得、町道路線の認定、平成30年度決算の認定を審議し、全議案を原案のとおり可決しました。

**問** 子ども・子育て支援システム改修委託料の内容は。

**答** 国の保育料無償化に対応したシステム改修である。

**問** 国の保育料無償化では、副食費は保護者負担としているが。

**答** 本町では、国に先駆けて、3歳児以上の保育料を無料とし、副食費も含まれる。引き続き、これまでどおり副食費も含めた無償化を続ける。



### ☆令和元年度9月補正予算の主な事業

- 子ども・子育て支援システム改修委託料
- 公認会計士委託料
- 若者職場定着奨励金
- 町営住宅解体工事費
- 中学生海外派遣事業費補助金

- 上有住地区公民館プロポーザル審査委員会委員報酬
- 昭和橋右岸配水管等布設替実施設計業務委託補償費
- 上有住地区配水管移設工事費

# 公共施設の 国の消費税



△改築される上有住地区公民館

■消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備

【提案理由】

今回の改正は、本年10月1日から消費税率が10%に引き上げられることに伴い、16（公共施設等）の条例を一部改正をし、使用料等を改正するもの。

**問** 条例改正による公共料金の引き上げを見込まなかった場合に、町財政に及ぼす影響は。

**答**

この条例改正により、一般会計のみで10月以降、使用料等に係る消費税の増額は、今年度分で約66万円、年間にするると132万円となる。関係する施設の維持管理費に係る消費税の増額分が約400万円、年間800万円となる。

仮に、使用料等の消費税を増額しないで、施設の管理に消費税が附加されると町の財政負担は年間約1000万円となる。受益と負担の原則から考えると、後年度負担が増えるような状況は、今後の財政運営に影響を与えると思われる。

**商品券**

**プレミアム券は**  
低所得者と  
子育て世帯

**問**

プレミアム付商品券の取り扱い内容は、購入限度額は2万

**答**

5000円で、販売額は2万円。5000

円分のプレミアムがつくことになる。購入方法は、1回当たり4000円を5回に分けて分割購入できる。

**問**

利用できる対象者は。

**答**

平成31年1月1日を基準とし、令和元年度の住民税非課税者の1316人の方が該当。

住民税課税者と生計同一の配偶者、扶養されている親族や生活保護者は該当外となる。

**問**

子育て世帯の対象は。

**答**

令和元年9月30日までに生まれた子供でゼロ歳から3歳未満のお子さんを持つ世帯の世帯主65人が対象。国からの通知のとおり進めている。

**問**

使用期間は、10月1日からいつまでか。

**答**

使用終了は、令和2年2月29日までと設定している。

**問**

町内では、47店舗の取扱となるが、事業効果をどのように見ているか。

**答**

低所得者や子育て世帯の消費を支援する。地域における経済効果は、3000万円を超えるお金が地域で回ることになる。

**上有住**

**公民館設計は**  
プロポーザルで

**問**

上有住地区公民館設計プロポーザル審査委員会の構成は。

**答**

町のデザイン会議の委員である大学教授2名、デザイン事務所代表、地区公民館長、有住小学校長、教育長、教育次長の7名である。

**問**

上有住地区公民館の建設は、地域の関心も高い。特に女性の意見をどう取り上げるのか。

**答**

地元の方々との意見交換での提案を

配慮していきたい。

**問** 林業総務費での公認会計士委託料の  
用務は。

**答**

木工2事業者の財務諸表分析を精査し、今後の取り組みや方針を協議していく。

**財産取得**

●有住小・中学校スクールバス1台

・取得予定価格  
722万2519円

●学校給食センター厨房  
備品一式

・取得予定価格  
980万6400円

**町道路線の認定**

●路線名 高屋敷線  
(世田米字高屋敷)

135・4m

●路線名 環川線  
(世田米字高屋敷)

1682・0m  
字津付)

# づくり推進

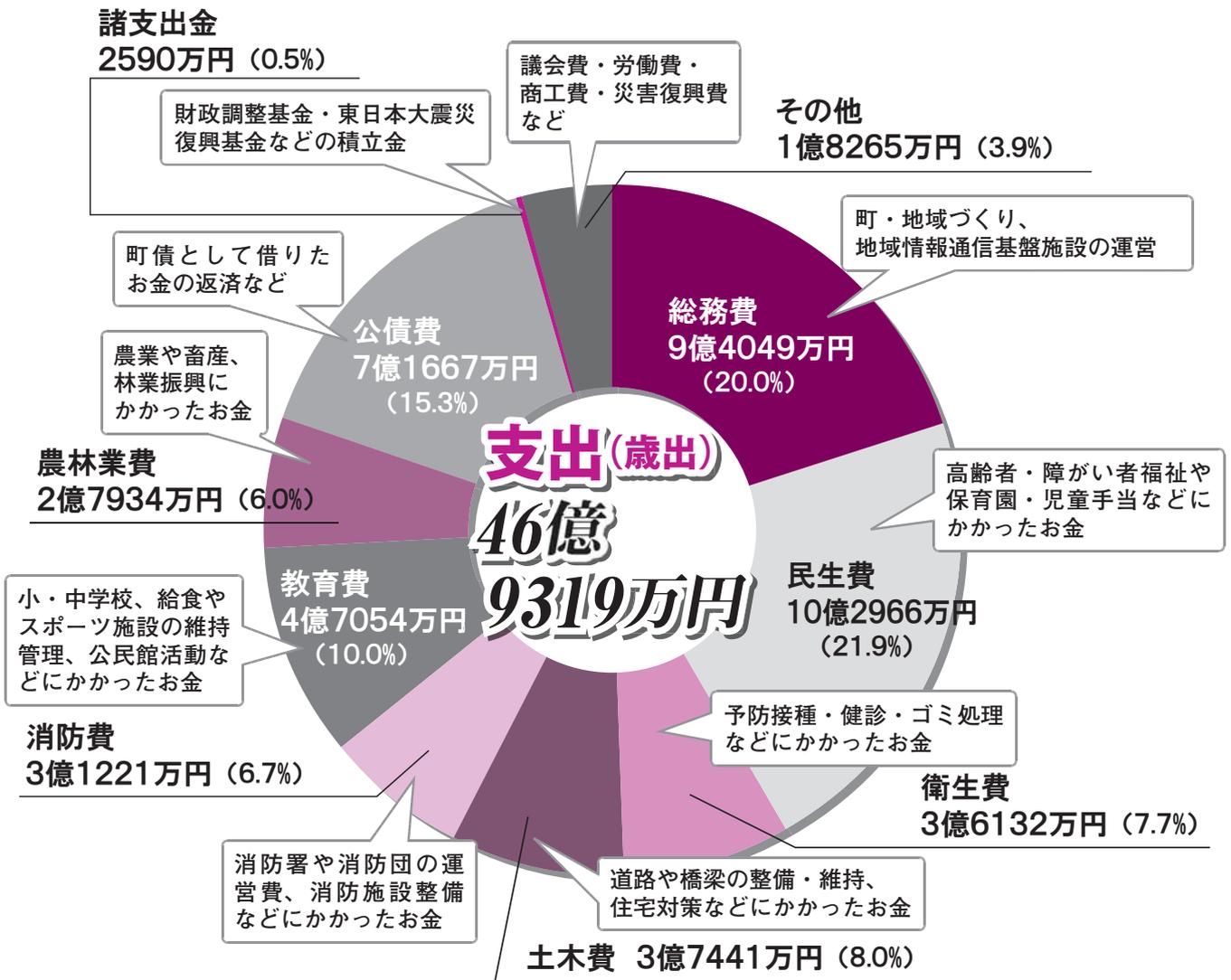
定住促進空き家改修、起業奨励金交付、  
水槽付ポンプ車導入、町道新設改良

## 一般会計歳出

# 46億9319万円

## 前年度対比3.5%減

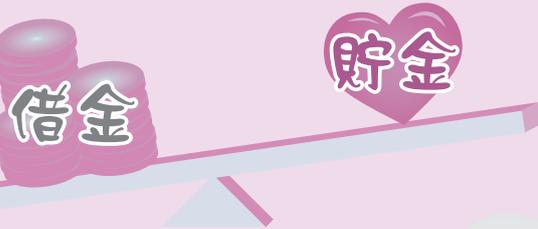
決算審査特別委員会



### 町債(借金)と基金(貯金)の状況

(一般会計分)

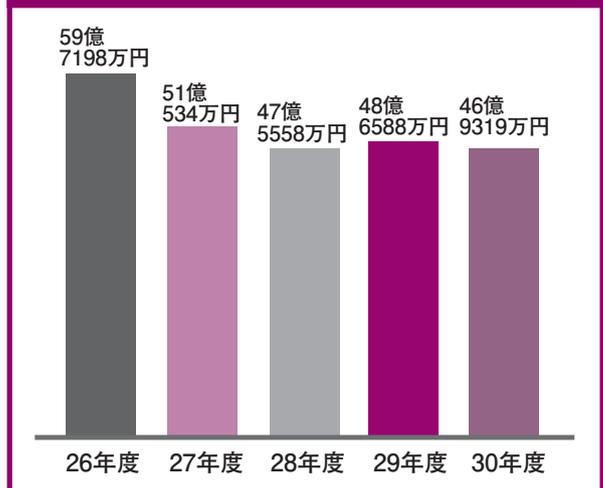
31年3月末日人口: 5435人



**町債(借金)**  
63億6275万円  
町民1人あたり 117万円

**基金(貯金)**  
56億2596万円  
町民1人あたり 103万円

### 5年間の一般会計歳出決算の推移





# 質疑

## 決算審査特別委員会

# 決算を徹底チェック

## 未収金回収の早期対策を求め

### 税・収入未済

**問** 町民税の個人・法人税とも税収が伸びた要因は。

**答** 個人では給与の伸びで所得が増加。法人では企業の業績が伸び、町税の増収に結びついていた。

**問** 地方交付税増額の理由は。

**答** 直接的な増額は公債費の償還ピークは令和3年度と見込む。

**問** 収入未済額の徴収対策は。

**答** 滞納者には、徴収員や担当者が訪問し、きめ細やかな納税相談にあたっている。

30年度の  
決算審査の  
内容です



△新たな医療資源として開設された訪問看護ステーション「すみちゃん」

### 小さな拠点づくり

**問** 今後の地域おこし協力隊の配置は。

**答** 上有住、下有住、五葉に着任している隊員の任期は令和元年度。今後の配置は次期総合計画で考える。

**問** 小さな拠点づくり活動の特徴は。

**答** どの地域でも地域の困りごとに対応する取り組みになっている。例えば、大股の買い物ツアールを実施。

### 情報・公共交通

**問** 10年が経過した地域情報通信基盤施設整備の対応は。

設整備の対応は。

**答** 平成30年度の基金積立額は2億1900万円。少ない人口でも持続、維持管理、運営が可能なビジョンで検討。

**問** 公共交通被災地特例が令和2年度で終了となる影響は。

**答** 民間路線バスの大股中井線の短縮が提案されている。その補完を検討しなければならぬ。

### 健康管理・検診

**問** 歯周病歯科検診事業の推進は。

**答** 30歳、35歳、40歳、45歳、50歳の方々に、個別通知をし受診勧奨している。

## 委員長報告

# 収入未済額解消を

決算審査特別委員会  
委員長 林崎幸正

各会計には、共通して年々増加傾向にある未収金対策が問われる。収入未済額の解消に各課総力を挙げた対応を望む。

決算審査は、財源確保と予算が適正に効率的に執行されたか。住民のための施策を進めたかなど。さまざまな観点から審査を行った。

耕畜連携による農畜産業の振興、訪問看護ステーションの開設、「地域創造学」による特色ある教育など、将来を見据えた施策を評価する。

この審査で質疑・指摘事項は、次年度以降の予算編成に生かし、具体的な取り組みが町民生活向上につながることを期待する。

**問** 健康管理システムのねらいは。

**答** 個別の検診、予防接種、母子保健などを一元でデータ管理し、対象者の把握に努める。

**問** 1日人間ドックの受診状況は。

**答** 受診枠300人に  
対し、268人の  
受診。枠があるので受診を勧めたい。

**問** 特定健康診査の受診率は。

**答** 現状の受診率は  
46・6%。目標は  
60%であり、受診率向上に努める。

**問** 訪問看護の利用者数は。

**答** 「すみちゃん」の  
利用は23人。

**問** 介護施設の改修など施設整備が必要だが、関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**答** 関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**問** 介護施設の改修など施設整備が必要だが、関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**答** 関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**問** 介護施設の改修など施設整備が必要だが、関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**答** 関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

**問** 介護施設の改修など施設整備が必要だが、関係機関と建物の再構築について検討する機会を設けていきたい。

## 決算審査特別委員会

### 介護施設



△定住促進のため改修された空き家



△住田分署に配備された新しい水槽付ポンプ車

### 鳥獣捕獲対策

**問** 狩猟免許取得補助金対象者の人数は。

**答** 新規取得は、第1種（鉄砲）1名、わな4名。平成25年度から通算で9名が新規取得。

**問** シカの捕獲数は。

**答** 平成30年度実績は、有害捕獲1428頭となる。

**問** FSC普及啓発

**問** 種山の遊林ランドの利用状況は。

**答** 年間約300人。森の保育園、森のマイスター講座、森の案内人による種山ヶ原散策会など。

**問** FSC森林管理認証の普及啓発の状況は。

**答** 森林組合が主体となりFSC加入促進の座談会を実施し、補助制度の活用を啓蒙した。

**問** 三陸防災復興プロジェクト推進のため、観光物産体制整備事業の取り組みは。

**答** 町内の観光施設、滝観洞などの充実を図った。

**問** 三陸防災復興プロジェクト推進のため、観光物産体制整備事業の取り組みは。

**答** 町内の観光施設、滝観洞などの充実を図った。

**問** 三陸防災復興プロジェクト推進のため、観光物産体制整備事業の取り組みは。

### 賛成討論

未来世代に引き継ぐ  
菅野浩正議員

平成30年度は、神田町政初の予算編成による「支え合う共生の町」を掲げ、未来世代に引き継ぐため、将来を見据え課題解決に取り組んできたことを評価する。

主たる成果は、開業医不在を補う訪問看護の推進。農畜産物の素材発掘によるビジネスの展開。定住促進空き家改修、国保税の負担軽減。地域創造学による独自の教育実践などである。課題である木工2事業体貸付金の早期解決を望み賛成討論とする。

### 観光プロジェクト

**問** 三陸防災復興プロジェクト推進のため、観光物産体制整備事業の取り組みは。

**答** 町内の観光施設、滝観洞などの充実を図った。

**問** 三陸防災復興プロジェクト推進のため、観光物産体制整備事業の取り組みは。

# 一般質問

9月  
定例会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねること。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

9月定例会では、7人の議員から16件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。質問と答弁を要約した内容は、9～15ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、12月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

我が町政を問う

## 森林整備、教育、観光 町の活性化などで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
9	荻原 勝	①地域資源の有効活用による観光振興 ②猛暑に伴う施設整備
10	林崎 幸正	①CLT工場の誘致 ②木工団地2事業体の未償還金等への対応 ③滝観洞の再開発
11	佐々木 春一	①小・中学校のスポーツ活動と健康管理 ②国民健康保険事業の見直し ③介護労働者の実態
12	瀧本 正徳	①町の住民懇談会の成果と課題 ②町の将来の姿を見定めた諸策の展開 ③教育関係施策の推進
13	佐々木 信一	①森林整備 ②教育環境の整備
14	村上 薫	①産業起こしと町の活性化
15	佐々木 初雄	①橋やトンネルなどのインフラ老朽化対策 ②町の行財政



「日本遺産」に住田と大船渡が加われば、産金の地を辿るルートが完成するのだが…。

議員のつぶやき

# 観光ルート化を戦略的に

## 町長／広域周遊を推進

我が町政を問う

荻原 勝 議員



△種山の「道の駅ぽらん」に設置されている三陸ジオパーク案内板

**問** 県内では今後、陸前高田市の復興祈念公園や、沿岸部の縦横高速道路網の整備が進む。本町と他市町との、観光資源のルート化・ネットワーク化を戦略的に進めるべき。  
**町長** 交通体系が変化する中、町としても広域ルート化・ネットワーク化を進めるべきと考える。三陸ジオパーク推進委員会では、青森、岩手、宮城3県の交流人口拡大に取り組んでいる。今年度は、広域連携事業として、大船渡市、陸前高田市と協力して外国人受け入れの旅行代理店向けモ

ニターツアーも実施する。  
**問** 県北縄文遺跡群の世界遺産登録に伴い、県南平泉文化との観光ルートが二極化が懸念される。滝観洞は住田町だけでなく、県南全体の観光資源として重要な位置づけになっていくのでは。  
**農政課長** ジオパーク構想では、二極化にならないように取り組んでいる。現在、気仙3市町で管内のルート化協議を進めており、滝観洞も取り込んでいきたい。  
**問** 宮城県蒲谷、南三陸、気仙沼、本県陸前高田、平泉の5市町が、産金の

**問** 災害時の避難所である地区公民館全てで、施設環境の改善を図るべき。  
**教育長** 設計段階にある上有住地区公民館は、自然エネルギーを生かした空調、冷暖房、断熱性能などへの提案を受ける。既設の世田米、下有住地区公民館の事務室以外は、教育関係施設全体の整備や修繕を考慮し、エアコ



△年中・年長の保育室は扇風機で暑さをしのぐ

**問** 設置を検討していく。  
**問** 中央公民館図書室は夏場の気温上昇が著しく、利用面に課題がある。  
**教育長** エアコン設置の必要性は高いと認識する。  
**問** 町内保育園の、全保育室にエアコン設置を。  
**教育次長** 今夏、昨夏の状態に鑑み、未設置の年中・年長の保育室も、今後整備する予定である。

地をたどる「日本遺産」に認定された。本町も認定を受け参加すべきでは。  
**教育長** 既認定5市町が協議を重ね、ストーリーを作成し、申請している。参加は難しい。本町としては、栗木鉄山跡の国指定を重点に取り組みでいきたい。  
**全保育室にエアコン設置を**  
**年中・年長にも整備予定**



議員のつぶやき

これまでの労苦をムダにせず、決断の時期を誤るな。

# CLT工場

## 誘致前向きに

### 町長／引き続き交渉

**問** CLT工場誘致の取り組み経緯は。

**町長** 平成27年に町内の林業事業者がCLT関連セミナー開催以降、この事業者と協力をし、取引先の企業などと誘致に向けた話し合いを重ねてきた。

**問** 誘致効果をどのように捉えているか。

**町長** 工場誘致は林業振興や雇用の創出など町の経済活性化に寄与する。利用期を迎えた森林資源の活用にもつながること



△CLT木材が使用されている住田分署

から、今後も工場誘致に向けた交渉を続ける。

**問** 木工団地の安定経営に向けても期待されるが。

**町長** CLT加工製造が加われば、地元企業での木材流通における幅が広がり、よりよい方向にな

るものと考えている。

**問** 本町への工場誘致実現に向けた見通しは。

**町長** 町民にとってプラスになるもの、マイナスになるものを総合的に考えながら誘致に向けて取り組んでいきたい。今後想定される事業費を試算しながら、条件を示したい。

### 事業継続で再建を

### 事業体の意思確認

**問** 三陸木材高次加工協

同組合と協同組合さんりくランバーに対する総額10億円超の未償還金等の対応は。

**町長** 各事業者の平成30年度決算による財務分析結果、事業運営のあり方、返済計画などの報告を9

### 周辺整備を早急に積極的に誘客活動



△SL銀河との相乗効果が期待される滝観洞

**問** 滝観洞の誘客を進めべきだが。

**町長** 東北横断自動車道釜石秋田線が今年3月に全線開通。三陸自動車道の整備も進み、交通状況は大きな変化が生じている。今年5月の連休、8

月のお盆期間中は例年になく入込客数となった。今後も運営主体の住田観光開発株式会社と協議

月末までにいただくことにしている。その内容をもとに協議をする。

**問** 資金繰りを支えるための再融資は。

**副町長** これ以上直接的な資金を出すことはできないと考えている。

し、積極的な誘客活動を進めていく。

**問** 滝観洞観光センターを温泉も備えた施設に建てかえや周辺整備を。

**町長** センターは昭和46年に建設、47年が経過し外観や周辺施設の老朽化が目立つが、現況では早急な施設の建てかえや全面的な整備は難しい。



介護はますます重要。  
処遇改善で人材を  
呼び込めー。

議員のつぶやき

# 介護人材確保を図れ

## 町長／雇用奨励金を活用

我が町政を問う

ささきはるかす  
佐々木春一 議員



△町内では約150人の介護職員を雇用

**問** 介護労働安定センターによる平成30年度の介護労働実態調査の結果によると、全国の介護労働者の60歳以上は20%超であるが、当町の実態は。

**町長** 町内の介護労働者は約150人で82%が女性。20代5・6%、30代15・5%、40代22・5%、50代31%で、60代以上25・4%のうち65歳以上は5・6%となっており、全国的な傾向に近い現状。

**町長** 地元就職者や雇用了した町内企業に対する「若者職場定着」「新規学卒者雇用促進」の各奨励金などで支援をしている。介護事業所や新規学卒者、町内の就職を希望する若者らに情報提供を強化する。

**問** 少子高齢化が進む中、各事業所では今後の介護人材確保に不安を抱えているが。

**保健福祉課長** 介護資源が限られている中、事業所相互の連携も含め、検討を進めていきたい。

### 子ども均等割軽減を

#### 子育て支援で努力

**問** 今年度岩手県が算定した国民健康保険被保険者1人当たり国保税は、11万5944円とされているが、実際の国保税額は。

**町長** 今年度当初課税段階での課税額をもとに、算定した1人当たりの国保税額は、8万1646円となっている。

**町長** 子ども均等割軽減は考えていないが、子どものある世帯には、さまざまな方面から子育ての独自支援に取り組んでいる。

### スポ少・部活指導は

#### 生活バランスを指導

**問** 小学生のスポーツ少年団や中学校のクラブ活動をどのように指導しているか。

**教育長** 過度のスポーツ活動が児童生徒の体位に悪影響を与えているとの指摘もある。成長期の児童、生徒に対し、運動、食事、休養及び睡眠のバランスの取れた生活となるよう指導している。

**問** 学校検診における健康状態と事後指導や受診状況は。

**教育長** 受診率は100%。歯科を除き有所見者はごく少ない状況。児童生徒の健康状態の特徴は、肥満と虫歯が多い傾向。生活習慣の指導と受診勧奨を行っている。



議員のつぶやき

野良仕事を  
楽しむ里山  
住田らしい  
魅力と思うが…

# 「野生の王国化」を防げ

## 町長／電気防護柵等設置で



△シカ・サルなどの侵入を防ぐため五葉地区に試験設置された金網・電柵を併用した防護柵

**問** 住田の里の「野生の王国化」を防ぐため、将来に向けた鳥獣被害対策の方向を示すべき。

**町長** 平成30年度の鹿の捕獲数は1400頭余りであり、今後も頭数抑制に努める。猿は農作物被害に加え、住民への被害の恐れがある。花火による追い払い、生態理解講座を開催し対応したい。熊や猿は県の鳥獣管理計画である。住田町の暮らしを守るために県へ要望して行きたい。今後も地域で取り組む防護柵や電気防護柵設置を進める。

**問** 各地で起きている大雨洪水被害は他人事でない。町の防災意識向上策を進めるべきだが。

**町長** 大雨洪水被害を想定した訓練を、福祉施設を対象とした要援護者の避難誘導訓練とあわせ実施した。約2000人の町民が参加した訓練であった。災害から、住民の生命と財産を守るために、「公助・共助・自助」の取り組みと連携が、地域防災力の強化につながる。防災訓練や防災リーダーの育成など、ソフト事業を中心に取り組む。

**問** 危険状態の空き家対策は急務。対応策は。

**町長** 特定空き家などの認定を行う「空き家等対策協議会（仮称）」の設置を進める。



△地域愛を育む伝承芸能（正月の権現様）

### 伝承芸能活動の活性化を

#### 活動発表の場を設けて

**問** 伝承芸能などの保存と活性化策を図るべき。

**問** 小中学校でのコンピュータ指導方針は。

**教育長** 郷土愛を育み、地域で守り受け継いでいる伝承芸能は、担い手不足や高齢化のため維持継承が問題になっている。芸能まつりなど、活動の成果を発表できる場を設け、維持・継承を図る。

**教育長** 情報社会への対応が適切にできるよう計画的に取り組みを進め、積極的な情報機器活用能力の育成を目指す。情報モラル教育を含む情報教育計画を定め、組織的に取り組む。

**問** 林業環境譲与税の算出方法は人口割と人工林面積割などになる。人口の少ない当町への配分は。

**町長** 森林環境譲与税の算出方法は、私有林人工林面積割50%、林業就業者割20%、人口割30%で配分される。全国市町村の平均が年額920万円の交付、政令指定都市では6880万円の交付となる。当町に交付される額は約1290万円と試算している。制度の趣旨に沿って有効に活用したい。

**問** 森林環境譲与税の使用

い道は。

**町長** 経済ベースに乗る森林は、意欲と能力のある林業経営者に経営を再委託する。森林管理が困



△伐採後の林地に放置されている残材

難な森林は、市町村が公的に管理、間伐、森林所有者の意識調査、境界確定、人材育成、担い手の確保など、森林管理シス

テムを円滑に機能させる取り組みに財源を充てる。

**問** 取り組みの重点は。

**町長** 私有林の森林整備の推進、造林事業の担い手確保、木材利用などを進める。

**問** 未利用材や林地残材収集システムを検討中だが、具体的な計画は。

**町長** 林内に切り捨てられている間伐材などを資源に活用。林地環境の保全を図り、地域住民の方々に搬出、林業事業体へ売り渡し、対価として、地域通貨を検討。



林地残材木質バイオマス資源として早く活用させたい。

議員のつぶやき

## 未利用材収集を図れ

### 町長／適正価格など検討

我が町政を問う

ささきしんいち 議員

持続可能な運営方法や収集の技術習得、適正価格の設定などの課題が上

### 教育環境の整備を

#### 令和4年度内に道筋を



△クラブ活動では、すでに合同チームで活躍している(県大会で優勝し、東北大会に出場した世田米・有住中学校合同野球部)

**問** 生徒数の減少により、学校行事や部活などに影響が出ている、中学校の統合を考える時期に来ているのではないか。

**教育長** これまで開催した教育懇談会や住民懇談会で少子化の現状を示してきたが、住民から寄せられた意見は少なかった。

保護者が集まる機会を捉え統合を含む教育環境整備の意見を聞き、令和4年度までに道筋を示したい。

**問** 中学校統合検討委員会を立ち上げる時期では。  
**教育長** 必要とされる時期に立ち上げるべきものと考えている。



議員のつぶやき

「森林・林業日本一」に次ぐ、新しい町の創造が必要となっている

# 「ミートタウン すみた」の実現を

## 町長／肉を前面に活性化図る

**問** 養鶏業及び養豚業などの畜産業は、林業・木材産業と並ぶ当町の一大産業である。この際、「肉の町・住田町」を積極的に前面に出し、「ミートタウン住田」構想を策定し、新しい町の創造を図り活性化すべきではないか。

**町長** 畜産業は、本町農業生産額の90%以上を占め、雇用、地域経済において大きな役割を担っている。本町の肉を前面に活性化につなげる考えは、議員と同様であり、

活性化について関係者で検討している。

**問** 町内木材産業と畜産業の生産額の差は、加工

(付加価値)の差にあるのではないか。

**町長** 一概に比較できないが、企業それぞれの取



△「ミートタウンすみた」町内産食肉を生かした料理教室。地元消費拡大が期待される

り組みもある。ふるさと納税返礼品とする加工品開発を進めている。

**問** 町内産物の販売、食の提供、交流と情報発信拠点として、「肉の駅・住田」をPRする107号線沿いの観光物産館

は、進展しているのか。  
**町長** 観光物産館など、9月に提案を含めて意見を聞くことになっている。事業主体がどこで、採算性を含めて、しっかり目標を定めて取り組まなければならぬ。

## 再構築すべき、住田林業 効果的に施策推進



△杉の間伐したところにヒバの樹下植栽が行われている。成長が期待される

**問** 従来の大径木、長尺材を目標とした長伐期・針葉樹主体の林業政策から発想の転換をし、短伐期樹種や伐らない林業を含めた複合的に未来へ続く森づくりを目指した町

林業の再構築が必要と考えるか。  
**町長** 針葉樹は、様々な支援策を実施し森林整備を進めてきた。今後は、新たな森林管理システムを実施し、町独自の支援策も講じ更なる森林整備を図り、木材生産を進め

て行く。短伐期事業や伐らない林業などに限らず、更なる林業振興を図るため、効果的なものは取り入れ本町の森林林業施策を進めていきたい。

**問** 町長は、林業政策を、どう変えていく考えか。  
**町長** 林業政策は、生産体系、一連の生産という位置づけで見た場合に全ての部分がシステム化されてきているのかなという部分に一つは疑問を持っていて。情報収集に努め改善をして行く。



突然橋が通行止めにならないように  
早め早めの修繕を

議員のつぶやき

# 安全・安心な 橋の維持を

## 町長／計画的に取り組む

**問** 橋やトンネルなどの老朽化点検結果をホームページ上で公開しているが、町内の状況と修繕をどう考えているか。

**町長** 住田町が管理する橋梁が89橋あり、そのうち供用年数50年以上が26橋ある。平成24年度に橋梁の長寿命化計画を策定し、計画的かつ予防的修繕に転換して、橋梁の耐用年数の延長に取り組んでいる。

**問** 5年以内に修繕が必要とされた橋の状況は。

**町長** 通行止めが必要な判定区分4の緊急措置段階の橋はない。判定区分

3の早期措置段階が16橋ある。現在の通行に支障はないが、計画的に取り組んでいく。



△平成30年度橋梁長寿命化（修繕）工事が実施された馬洗橋

### 町の財政状況は

#### 7割が依存財源

なっているが。

**問** 職員のスライズ指数（※注）は県内下位だが、平成28年度の決算で、人件費の占める割合が、18・9%と県内33市町村で一番高い割合と

**町長** 近年10年の状況は、平成25年度の14・1%が最も低く、平成20年度の20・4%が最も高い割合となっている。各年度に

おける歳出総額によって割合が増減している。

**問** 県内の人口が類似している人口5000人から7000人程の町村と一般職員数の比較で、住田町より少ない町村が多い。人件費比率に影響は。

**総務課長** 町全体の施策で、そのときのニーズに合わせて、行政需要に合わせた的確な行政を展開していかなければならない。

**問** 財政は、厳しい状況と話しているが。

**町長** 町の財政は、国の有利な借入制度を活用しながら、安定財源を維持してきた。歳入総額の7

割が依存財源で、財政基盤が脆弱である。人口減少に伴う財政規模の縮小が見込まれる。また、歳出では、学校や公共施設などの老朽化に伴う大規模改修、改築などに、多額の費用が見込まれる。

**問** 公共施設などの借入金返済で、当面、高止まりが続くというが、今後の見通しは。

**企画財政課長** 当面のピクは、令和3年度を見込んでいます。



△建設に要した借入金の返済が始まった「特養すみた荘」

我が町政を問う

佐々木初雄議員



世田米字柏里

紺野こんの

潔きよしさん

# 私も ひとつ 甘口 辛口

84



金野きんの

秋子あきこさん

上有住字金ノ倉

## 住田への立ち寄りを

●今活動していることは  
「大股を次世代に伝える会」副代表として、「ここが君のふるさとだ」など地域に根ざした冊子の制作に携わってきました。町に大学生が来た時には、観光協会の交流会の手伝いもしています。

●気になっていることは  
子供の頃のゼンマイ山

が杉山になり、しかも伐期を逸しているように見えます。町内の山は、もっと多様に活用できるとは思っています。

●議会や町に望むことは  
観光客が住田を素通りしていきません。隠れた魅力の発掘、民泊



△隠された魅力のひとつ「柏里の石祐山」

の推進、国道沿いの新施設建設など何かをすべきです。

## 災害発生情報の周知を

●今活動していることは

婦人部や婦人消防協力が隊に参加しています。後継者不足や活動期間に不安もあります。地域のためこれからも取り組んでいこうと思います。  
●気になっていることは  
平成28年に台風10号の影響で、中沢地区で床上浸水の被害がありました

た。その際、地元住民に対し被害発生情報が周知不足に感じました。

●議会や町に望むことは  
平成30年度、県道釜石住田線の道路整備に向けた、県の調査費がついたと聞きました。道路改良の早期完了を望みます。併せて滝観洞の観光振興をお願いします。



△台風10号で床上浸水となった家屋

## 表紙の写真

有住保育園



10月3日、住田ライオンスクラブの皆さんのご厚意で、今年も恒例の栗拾いを楽しみました。子どもたちの集中力は素晴らしく、15分ほどで袋の中身はおいしそうな栗で一杯になりました。保育園でお留守番している小さいお友達や先生、お家の人達へのお土産もたくさん拾い集め、豊かな秋の恵みを大事そうに抱えて帰りました。

## あとがき

▼今年の夏は、猛暑でコマの収穫時期もいくぶん早くなったような気がします。作柄はいかがでしょうか。

応も追及、早期の解決が望まれます。  
▼11月は住民と議員との懇談会が開かれます。地域の皆様との意見交換を楽しんでいます。  
(佐々木信一)

### 発行責任者

議長 瀧本 正徳

委員長 菅野 浩正

副委員長 佐々木春一

委員 佐々木信一

委員 佐々木初雄

委員 萩原 正勝

### 広報編集常任委員会

委員 水野 正勝



すみた 議会だよりNo. 167

令和元年10月25日発行

発行/住田町議会  
編集/広報編集常任委員会

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1  
TEL 0192(46)3754(直通) 内線511 FAX0192(46)2018  
http://www.town.sumita.iwate.jp